



**「旗揚げ」**

地域へのスカウト運動PR写真 最優秀作品 撮影者：富士宮第22団 院南竜介さん

**今年は何にチャレンジしようか？**

**CONTENTS**

年頭のご挨拶	2	研修所報告	10
静岡県連盟 連盟長 川勝平太		女性指導者セミナー	12
静岡県連盟 理事長 前澤 侑		Facebook活用勉強会	13
いつも元気だっ！ビーバーだより	4	地域PR写真 優秀作品紹介	13
カブつうしん	5	ご応募ありがとうございます	
ボーイ通信	7	マスコミコーナー	15
指導者だより	8	お知らせコーナー	16
おめでとう友情章	9	・平成29年度「たちばな」への原稿依頼計画	

# 年頭所感



一般社団法人  
日本ボーイスカウト静岡県連盟 連盟長

## 川 勝 平 太

明けましておめでとうございます。

一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、富士山を望む県立富士山麓山の村で、秋篠宮殿下、眞子内親王殿下の御臨席の下、「We Can! 富士からともにはばたこう」をテーマに「第 12 回日本アグーナリー」が盛大に開催されました。障がいのあるスカウトを中心に海外からの参加者も含め約 1,000 人の関係の皆様が集い、障がいの有無や老若男女にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」の実現に寄与したことは、大変喜ばしいことです。参加した多くの青少年たちは、“ふじのくに”静岡県を満喫し、思い出深い大会になったことでしょう。また、静岡県連盟の皆様におかれましては、平成 34 年のボーイスカウト日本連盟創立 100 周年に向けて策定した計画「活動的で自立したスカウトを育てる」の大きなステップにつながったのではないのでしょうか。

本県は、県政の基本理念に「富国有徳の理想郷“ふじのくに”づくり」を掲げています。その礎は、霊峰・富士の姿のように、気品をたたえ、調和した人格を持った「有徳の人」の育成であります。ボーイスカウトでも、自らが進んで働きかける市民性の涵養を教育目標に掲げ、模範的な将来の社会人として、他人に対する奉仕のため青少年を倫理的、身体的に成長させることを目指して活動している点で、スカウト教育は、有徳の人の育成に通じています。今後もスカウト運動の推進が地域社会の発展に貢献いただくことと期待しています。

ボーイスカウト活動のますますの飛躍とともに、今年一年間の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げ、年頭の御挨拶とします。

# 年頭所感



一般社団法人  
日本ボーイスカウト静岡県連盟 理事長

前澤 脩

新年あけましておめでとうございます。

皆様には健やかに新年をお迎えの事と心からお慶び申し上げます。

昨年は、富士宮市の「富士山麓山の村」に於いて開催された第 12 回日本アグーナリー及び岐阜県高山市日和田高原で開催された第 2 回東海 4 県連盟合同野営大会に、大勢のスカウト・指導者に参加をいただきました。おかげさまをもちましていずれも成功裏に終わることが出来、大変感謝を致しております。

さて、ボーイスカウト静岡県連盟は今年の定時総会に於いてスローガンを「地域の発展に貢献する、スカウト運動の推進」と改め、地域社会との連携を模索して参りました。本年もボーイスカウト運動の良さを積極的に発信し、地域社会に必要とされるスカウト活動を目指して、団・地区・県連盟が一丸となって進んでゆく一年にしていきたいと考えております。

本年はセーフ・フロム・ハームの導入、ボーイスカウト部門・ベンチャースカウト部門の進級課程の改訂など大きな変化の年となりますが、スカウト活動の質を高めるために、積極的に対応して行く必要が有ると考えます。

また、来年の平成 30 年には 8 月 4 日から 8 月 10 日の会期で石川県珠洲市りふれっしゅ村鉢ヶ崎に於いて第 17 回日本スカウトジャンボリーが開催されます。静岡県連盟からも多くのスカウト・指導者達が参加し、自らの力を試し友情を育まれることを期待します。そして、5 年後に迎える「日本ボーイスカウト静岡県連盟結成 100 周年」につなげて行きたいと思っております。

結びに、今年一年の日本ボーイスカウト静岡県連盟諸兄のご活躍とご健勝を祈念し年頭のご挨拶と致します。



いつも元気だっ!  
ビーバーだより

## おいもほりと、いもにかい

志太地区 藤枝第 2 団 ビーバー隊

### 福安 駿生

さといもを、はじめてとりました。

さといものはっぱが大きかったので、びっくりしました。

さといもはコロコロしていたけど、さつまいもは、でこぼこでした。

さつまいもをあらうときは、たのしかったです。

ぼくたちがいもをとったので、それをメインにして、カブたいが、しょうゆあじ、カレーあじ、みそあじの、3しゅるいのなべを作ってくれました。食べたらいしかったです。3ばいもたべました。おさらあらいまでやりました。つかれました。でも、とってもたのしかったです。

### 能崎 暉土

今日は、みんなでそだてたおいもをほって、いもに会をしました。はじめてつかったスコップはおもかったけれど、少しはうまくいきました。 ↗



↗ 土には、よう虫とさなぎと、なめくじとムカデ、ありがたいばいしました。

ほったおいもがとっても大きくて、うれしかったです。お水であらったら土がとれて、きれいなむらさき色がでてきました。

いもに会のお昼ごはんは、とってもおいしくて、なべを3回もおかわりしました。

今日は、さいこうの一日でした。

### 小泉 琥太郎

さといものしゅうかくがおわったら、みんなでさといもをあらいました。その後は、みんなでさといもをさがしたり、おとしあなを作ったりしました。そのあいだにボーイたいがカレーと、みそと、しょうゆあじのなべを作ってくれました。

お昼にビーバーたい、カブたい、ボーイたいのみんなでいっしょに食べました。ぼくたちがほってとったさといもも、入っていました。とてもおいしかったです。食べおわったらしょっきをあらいました。しょっきをあらったら、しょっきをふきました。とてもたのしい一日でした。

## 電車にのったよ

富士宮地区 富士宮第 9 団ビーバー隊 工藤 紘

電車にのってごてんばのこまかど風穴に行きました。切ぷをを買うところからぜんぶ自分たちでやりました。時間やねだんを調べたりのりかえもあってドキドキしたけれどカブたいのお兄さんたちがおしえてくれました。えきから風穴までは、こま地図を見てビーバー4人で力を合わせて歩きました。まよわずにつけてうれしかったです。風穴の中は、まっ暗でおもしろかったです。電車ののり方をおぼえられたのが一ばんうれしかったです。





## 夏キャンプ

三島地区 函南第 1 回カブ隊 佐野元之輔

ぼくは、夏のキャンプで「長光寺」というお寺に行きました。その時は雨が降っていたので土がドロドロでした。だから、いそいでお寺に入りました。中に入ると、三島第 5 団と一緒に行動するといわれました。そのあとすぐに号令がかかって、ハイキングに行きました。途中で農場を見せてもらったり、丹那トンネルの話の聞いたりしました。お寺に帰る



ともうご飯のしたくができていました。

ご飯を食べ終わると、ウルトラマンの木魚を見つけました。おしょうさんに質問したら、ウルトラマンが好きだからと教えてくれました。

そのあとすぐ、きもだめしがありました。内容は、遠くの部屋にあるおみくじを引いて、無事なら一人一回鐘をならして来るというものでした。ペアと一緒にいくからいいけど、ライト・懐中電灯禁止でした。ぼくの番が来て 1 歩ふみだすと足が凍りそうでした。でも、無事おみくじを引けました。中吉だったので残念でした。

次の日、朝ごはんのあと、じぞうの絵をかきました。楽しかったです。

## ボーイスカウトでお寺泊り体験

三島地区 函南第 1 回カブ隊 重倉 啓太

ぼくは夏に長光寺というお寺に泊りました。三島 5 だんの人たちといっしょなのでかなり心配で不安だったけど、みんながすぐに話しかけてきてくれてすごうれしかったので（がんばろう。）という気持ちになれました。お寺では、一日目はハイキングをして、とてもつかれたけれど、夕はんのタコライスを食べたら元気が出ました。お寺では、無言で食べるというきまりがあったのでいつもとちがっておちついた気持ちになれました。

二日目はうちわにおじぞうさんを書きました。その後、シートにみんなでおじぞうさんを書いて、みんなのおじぞうさんの絵がかかれてあってとてもおもしろかったです。

他のだんと泊まってきんちょうしたけれど、最後には仲良くなれて良かったです。

## 楽しかった沢登り

島田地区 島田第 2 回カブ隊 山田 凌輔

ぼくは、7 月のカブスカウト活動で沢登りをしました。下流の所から沢の中をジャブジャブ歩いて行きました。最初は、ぬれないように浅い所を歩いて行きました。初めのうちはクツがぬれるくらいだったけど、だんだん深くなって行ってひざの下くらいまでつかりました。と中大きな鉄の柱がたおれていました。横の岩からその鉄の柱の上まで行って何度も水の中へ飛び下りて遊びました。

少し行くと、えん堤がありました。その横に魚が登るための階段があったので流れが急だったけどみんなで協力して登りました。登った所には、

大人も足がつかないほどの深い所がありました。そこでみんなと泳いだりもぐったりしました。沢登りをして楽しかったです。

今度ボーイスカウトに上がります。いかだ下りなどもっと楽しそうな活動が待っているので楽しみです。



## 上進へのくまキャンプ

浜松東地区 浜松21団 カブ隊 袴田 真輝

一泊二日のくまキャンプに参加したが、初めてくまだけだったので少し緊張した。テント設営の時は雨で大変だったが、風向きも考えながらひもの張り方に注意してうまくできた。食事は自分たちでメニューを考えて買い物に行った。おでんとシチューを作ることにしたが、食材の量を考えるのがむずかしかった。調理もスカウトだけで心配だったが協力して作ることができた。自分たちで作る良い経験になった。料理はおいしく作れたのでとてもうれしかった。

食事の後はロープワークで「もやい結び」と「ふた結び」の練習をして覚えることができ、隊長から



「合格」をもらえた。もっと色々な結び方を覚えていきたい。今回のキャンプでいろいろ学ぶことができたが、ボーイ隊上進に向けてこれからも進歩していきたい。

## 直虎ハイキング

浜松東地区 浜松第11団 カブ隊 長橋 和希

大河ドラマ「おんな城主 直虎」にちなんだゴミ拾いハイキングをしました。

まずは必要な材料を調べて井伊の赤備えをイメージしたよろいを作りました。段ボールに穴を開けてひもを通す作業が大変で穴を大きくしたりキリで押し込んだりして通しました。完成したよろいはイメージ通りで武将になった気分でした。活動日は路線バスに乗り井伊谷宮からよろいを着て出発しました。地図を見ながら井伊谷城址に向かい、その後は直虎の家のあとを見たり井伊家にちなんだお菓子を食ったりして最後は皆で龍潭寺に行きました。井伊谷城址への坂がきつかったですが、景色はとてもきれいでした。迷ったときは道を聞いたりして何とか着きました。大変だけど楽しかったです。



## 竜ヶ石山ハイキング

浜松東地区 浜松第22団 カブ隊 木下 紗那

2年前、うさぎスカウトで参加したハイキングの時、歩くのが遅くて、くまスカウトに手をひいてもらいゴールできた思い出があります。

今回は、私がくまスカウトになり、全員が無事にゴールできるよう、組長として危険な所で声をかけたり、列をみださないように注意しながら歩きました。

組でそろって元気にゴールできて、ホッとしました。この日、ゆうしゅう個人賞をいただくことができて、少し自信がつかしました。

これからも、安全に楽しく活動できるように、責任を持って行動していきたいと思っています。



## あまごの里親になりました

浜松東地区 浜松第24団 カブ隊 今井ひまり

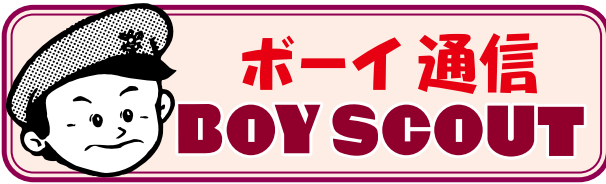
11月の隊集会で、“あまご”のたまごをもらってきました。2月の放流会まで、育てることになりました。

あまごのせつ明を聞いていると、れいぞうこで2か月育てるといことです。5℃から7℃くらいがちょうど良いけど、10℃だと成長が早くなってしまい、エサがほしくなるのだそうです。

れいぞうこで、育てるなんてびっくりです。10℃いかに気をつけないといけません。いろいろせつめいを聞いてから、たまごを受け取りました。ペットボトルに10このたまごを係りの人に入れてもらい、里親になりました。もらったたまごはもう目がみえていて、またびっくりでした。

水かえもして、2月の放流会までの間、うまく育てることができるかな。大事に育てて川にもどる事ができるようにがんばります。





## 収穫祭

清水地区 清水第 8 団 ボーイ隊 酒井 涉伍



先日、春に植えたさつまいもの、収穫がありました。僕は、小学校 3 年生で入隊して、何度かこの収穫に参加しましたが、今年はあまり沢山収穫できませんでした。それに、今回は、収穫したいものをその場で調理し

にいつも来てくださる団委員の方が来られないということで、残念な気持ちと同時に、日頃どれだけお世話になっているか、ということを実感しました。収穫の方は先に伸びているつるや葉を切り取ってから、掘ったのですが、つるがかたかったり、表面につき出たいもに傷をつけてしまったりして、大変でした。その後、一人一個ずつ現地で焼きいもをして、残りを皆で分けました。草刈りや収穫ですごく疲れたけれど、その場で食べた焼きいもはとても美味しかったし、たくさんの色も持ち帰ることもできたので、楽しかったです。これからも、その他色々な活動にも積極的に参加して頑張っていきたいし、この収穫祭にも来年また参加できるようにしたいです。

## 2TCで学んだこと

磐田地区 豊田第 1 団 ボーイ隊 宮崎 陽菜

私は今年の夏に 2TC に参加し、たくさんのことを学びました。

一つ目は「仲間と協力する」ことです。私は、参加する前、みんなと仲良くできるのかとても心配でした。でも、役割を分担し活動する中で、協力することの大切さがわかりました。

二つ目は「苦手なことでも頑張る」ということです。私はロープ結びが苦手な隊でも教えてもらいましたが、なかなかうまくできませんでした。今回、竹や木を十字にするしぼり方が分からず困っていた時に、班長がしぼり方を親切に教えてくれ、結ぶことができるようになりました。

長い間、家族とはなれて参加した 2TC は、少しさみしかったり、不自由だったりしましたが、仲



間が助けてくれたおかげで、6 日間を楽しんで過ごすことができました。

私にとって、ボーイスカウトは初めての体験をする大事な場所です。

これからも活動を通じて、もっともっといろいろなことを体験していきたいと思います。

## ボーイスカウトでの体験

浜松地区 湖西第 1 団 ボーイ隊 高橋 孝多

僕が今年の 4 月から体験し印象に残ったことはいくつかある。

5 月末、竹を使った工作を行った。1 本の切った竹から何ができるか考えて、節と節の間を使い小物入れを作ってみたが大きすぎてまだ使っていない。

6 月には団の田んぼで田植えを行った。毎回肘などが泥で汚れるが、今年は服を汚さずに上手くやれた。またサツマイモの苗を新しい畑に植えた。その後の草取りが大変だったが苗が大きくなっていくのはうれしいと思った。

夏季野営は帰省のため参加できなかった。

9 月には田んぼの案山子を竹を使って 2 体作った。

10 月には案山子に守られた稲の刈取りを行う。稲刈りでは田んぼが暖かかったのか 1 匹のヘビが出てきてみんなびっくり。団委員長がヘビの首の付け根をつまんで横のやぶに逃がした。優しいと思った。3 週間後サツマイモの取り入れを行った。蔓を切った後、畝から掘り出すワクワク感が楽しかった。いろいろな体験は自信につながるんだとリーダーが話してくれるがその通りだと思っている。



## 指導者だより

### 日本の指導者となって

伊東地区 伊東第5団カブ隊副長 **メヒアニエトハビエル**

16人兄弟の7番目で育った子供時代の記憶はコーヒー農園での重労働と、いつもお腹を空かせていたことです。私の生まれ育った南米コロンビアでは、貧富の差が激しく当時内戦もあり不安定な状況でした。一日一日を生きてゆくの精一杯で、兎に角一秒一秒を生き抜くことが優先でした。当時、ボランティアと言う言葉さえ知りませんでしたし、ボーイスカウトの存在も10年ほど前に知りましたが、母国ではボーイスカウトは上流階級の子弟が活動する組織と言えます。25年前に来日し、地元で様々なボランティア活動に従事する中で、伊東第5団に迎えられました。自分が日本の指導者に成れるとは夢にも思っていませんでしたので、喜びと不安が入り混じった複雑な心境ですが、指導者の立場となった今、強くスカウトに伝えたい事があります。それは「無から有を生み出す力」と「足る」を知り「感謝の心」を忘れずに奉仕することです。そのためにスカウトが生きてゆく為の体験・経験の場を沢山作ってあげ、その思い出が将来彼らの「言葉」となり、その言葉は「行動」となり、その行動がやがて大人になるスカウトの「人となり」をなす」と信じて指導者としてできる限りの力を彼らに捧げたいと思っています。



### 団家族

富士地区 富士第2団 団委員長 **高村 賢一**

富士第2団は1955年に発団お蔭様で61年を迎えることができました。

スカウトが減少しているものの成人指導者の努力によってBVS隊・CS隊・BS隊・VS隊・RS隊を維持しています。

団行事は「団家族」のテーマで4つあります

- ①. 1月1日 年始式
- ②. 4月 育成総会
- ③. 10月 活動報告会
- ④. 12月 餅つき会

その中で10月15日に行われた夕食を共にした活動報告会について話したいと思います。場所は富士市立丸火

青少年の家、全隊の集合時間17時00分で夕食が18時、活動報告会は19時～20時。各隊集合時間は異なり、隊のプログラムによって決めていただきました。

メニューはカレーライスで辛さを甘口20人分・中辛30人分・辛口30人分と三段階に分けて80人分、ダッチオープン14インチ3つ、12インチ3つ使い、かなり美味しくできました。ご飯は薪釜で7升炊きあげ、ほとんど完食でした。

満腹のあと各隊の活動報告は日ごろの活動写真を編集してパソコンとプロジェクターを使って画面を見ながらBVS・CS・BSの各隊長が話をしましたが、VS・RSはスカウトたちが活動写真を編集してスカウトたちの感想を入れながら話をしてくれました。VSは2TCに上班・隊付とし参加したこと。RSは12NAに奉仕スタッフとして参加したこと、大学のサークルのことなどを話してくれました。



成長したスカウトたちに感動しました。各隊が集まり夕食を共にしたこと、そして各隊の話でビーバースカウトたちも楽しく聞いてくれました。「団家族」テーマ通りに全員が楽しく過ごせました。

### 上進に向けての「くまキャンプ」

鳥田地区 鳥田第2団 カブ隊隊長 **瀧村 美昭**

私たちのカブ隊では、毎年秋になると、くまスカウトだけの「くまキャンプ」を行い今回で13回になります。市内のスーパーマーケットに集合し食料の買い出しから始まります。今年も定番のと言っても、くまスカウトにとっては、初めての体験ですが、鍋料理と、とろろ汁の食材を買い、いよいよ宿泊先、やまめ平の旧家、通称「いろりの家」へ出発です。くまスカウトは3名ですが、お手伝いをとボーイ隊のスカウトに声をかけたところ、5名が参加してくれて、調理や工作の下準備をしてくれました。お目当ては、いろいろで焼くやまめの串焼き?夕方になってボーイ隊の隊長さんも来てくれてボーイ隊の心構えや活動内容など「月ノ輪ハンドブック」にそった話をしてくれました。上進を考えるこの時期、家庭でもいろいろな話が出ているようですが、一番心配されているのは、クラブ活動と両立できるかと言う事です。このくまキャンプ中も先輩スカウトとの話の中で、きっとよいアドバイスを与えてくれたと思います。そして、来年の「くまキャンプ」には、ボーイ隊として、お手伝いに来てくれる事を、楽しみにしています。







## おめでとう!! 25 名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、  
友達がスカウトに入るともらえる章です。

記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

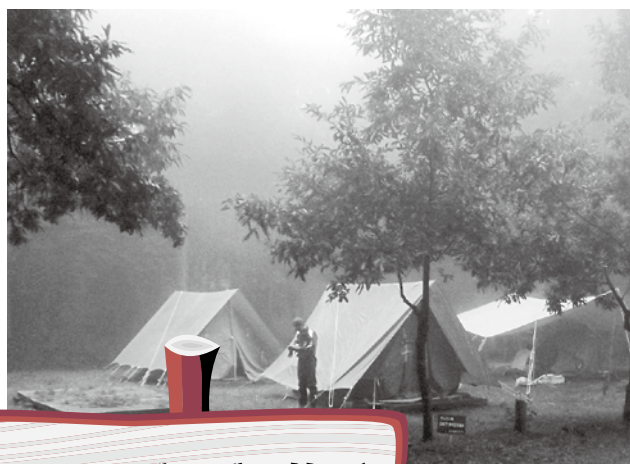
組織拡充委員会

### 平成28年11月度「友情章」顕彰者名簿

氏 名		地 区	所 属	
平 松	寛 大	浜 松 東	浜 松 第 30 団	B V S
村 木	優 雅	浜 松	浜 松 第 12 団	B S
峯 凜	太 郎	沼 駿	沼 津 第 16 団	C S
八 木	杏 奈	島 田	金 谷 第 3 団	C S
鈴 木	汰 鷹	島 田	金 谷 第 3 団	B V S
河 野	蒼 大	沼 駿	沼 津 第 4 団	B V S
龍 川	流 生	沼 駿	沼 津 第 4 団	B V S
江 神 琥	太 郎	沼 駿	沼 津 第 4 団	B V S
望 月	春 希	富 士	富 士 第 9 団	C S
鈴 木	仁	島 田	御 前 崎 第 1 団	C S
森	亮 之 佑	島 田	島 田 第 2 団	V S
上 田	翼	島 田	島 田 第 2 団	V S
諏 訪 部	凜 音	富 士	富 士 第 2 団	B V S
山 本	蒼 真	富 士	富 士 第 2 団	B V S
山 田	紅 子	富 士	富 士 第 2 団	B V S
川 島	大 佳	富 士	富 士 第 2 団	B V S
杉 本	陽 向	富 士	富 士 第 2 団	B V S
小 松	和 真	浜 松	浜 松 第 12 団	B V S
長 谷 川	有 紀	富 士 宮	富 士 宮 第 21 団	C S
磯 野	桜	富 士 宮	富 士 宮 第 21 団	B V S
伊 藤	心 音	富 士 宮	富 士 宮 第 21 団	B V S
大 石	意 丸	島 田	相 良 第 1 団	C S
増 本	陽 樹	島 田	相 良 第 1 団	B V S
児 玉	蒼 太	島 田	島 田 第 2 団	C S
大 城	み な み	浜 松	浜 松 第 12 団	B S

# 研修 おつかれさまでした

- ◆ ウッドバッジ スカウトコース
- ◆ 第2回トレーニングチーム
- ◆ 定型外訓練



ウッドバッジ研修所  
スカウトコース  
静岡第1期

**平成28年10月7日～11日(野営)**  
**三島市立箱根の里**

指導者訓練の改編に伴い、日本連盟試行コースとして開設されました。参加者は25名。本コースは野営生活もセッションとなり、野営スキルとBS部門のプログラムプロセスの修得が中心の研修となりました。後半には課程別研修が設定され、BVS課程5名、CS課程8名、BS課程12名が修了しました。今回は、日本連盟試行コースのため、渡辺和男リーダートレーナー(神奈川連盟)が日本連盟より派遣され、所員は県内のトレーが務めました。



静岡県連盟  
平成28年度 第2回  
トレーニングチーム  
研究集会

平成28年11月5日~6日  
国立中央青少年交流の家

任期の締めくくりの研究集会として参加者68名で開催されました。県連盟相談役の鈴木節子講師より「先達に学ぶ本質的スカウティングとは」をテーマに講演いただきました。講演では、自身が研修所などで先輩たちから学んだ心構えや、歌を取り入れたスカウティングを行うことでより一層楽しい活動ができることをお話し下さいました。その後の研修では、今まで進めてきたタスク



チームでの研究成果の発表が行われました。平成27年度第1回研究集会において、膳師日本連盟コミッショナーの講演で取り上げられました「班制教育」「進歩制度」「斥候術」「隊の運営」の4つのテーマを9タスクチームに分かれて研究を進めてきました。その成果として、スカウト活動を進めるうえで活用できる指導者用ツール作成に向け具体化することが出来ました。このツールは今後県連盟のホームページなどで配信する予定です。



平成28年11月26日~27日  
桃沢野外活動センター

第2回  
静岡県連盟  
定型外訓練

5月の第1回定型外訓練に引き続き「今さら聞けないプログラムの展開2」が桃沢野外活動センターを会場に参加者53名で開催されました。パート1に引き続き福井県連盟の鹿ノ内さんを講師に招き、スカウトソングを中心に、また堀内リーダートレーナー、澤田副リーダートレーナーによる、キャンプファイアーの準備から後始末までの流れを学びました。参加者はRS年代から団委員長まで幅広く、楽しみながら熱心に研修を受けていました。今後は、スカウトソングをたくさん取り入れた活動が行われることでしょう。



## 「第2回女性指導者セミナー」を開催



■ 日時: 10月15日(土) ■ 会場: 静岡県青少年会館

「第2回女性指導者セミナー」を19名の参加者を得て実施いたしました。セミナーでは、戸田県コミッショナーによる「セーフ・フロム・ハーム」の研修次に、【自ら輝く女性】と題し、「女性初」「女性先駆者」といわれる方々を紹介。

広岡浅子・荻野吟子・モンテッソーリ・加藤シズエ

そしてボーイスカウトでは早い時期より指導者訓練に携わり、CS部門研修やBVS部門の新設にご尽力された鈴木節子さん(静岡県連:富士地区)をご紹介しました。

紹介した五名の方々には五人五様のご苦労がありました。が、「男社会における女性の立場」で、「女のくせに」「女なのに」と言われながらもそれをバネに志を貫いたということが共通していました。

午後はお茶を頂きながらの女子トーク。

経験の長短はありますが、自らの体験を語り、同じ志を持った女性が多くいることを心強く思う時間を過ごしました。

女子スカウトの増加に伴い、女性指導者の役割は今後益々大きくなっていくことでしょう。

多くの同志がいて、先輩がいる。『互いに切磋琢磨し励んでいく』との思いを胸に、散会しました

この女性指導者セミナーの実施内容は、10月22日(土)の地区正副コミッショナー研修集会、県トレーニングチーム研修会で報告致しました。



## 第1回「Facebook活用勉強会」を開催しました。

平成28年11月12日(土)、静岡県青少年会館で「Facebook活用勉強会」が開催され、各地区から22名が参加しました。

第一部では、Facebookを開設する手順を詳しく説明。第2部では、運用上の注意点や上手な活用方法を紹介しました。参加者からは基本的な質問や運用面での悩みなどの相談が出され、内容の濃い勉強会となりました。

広報委員会では、次年度も勉強会の開催を計画しています。

### <参加者> 22名

- |               |                |
|---------------|----------------|
| ◆伊東地区…………… 2名 | ◆沼駿地区…………… 2名  |
| ◆御殿場・小山地区… 2名 | ◆富士宮地区…………… 4名 |
| ◆清水地区…………… 3名 | ◆静岡地区…………… 1名  |
| ◆志太地区…………… 1名 | ◆島田地区…………… 3名  |
| ◆掛川・袋井地区…… 3名 | ◆磐田地区…………… 1名  |



## “地域へのスカウト運動のPR写真”に多数の応募有難うございました。



PR活動に活用して頂く“展示用写真”に、6地区から52の応募作品がありました。作品はラミネート加工して地区にお届けしましたので、展示会や体験会などで是非ご活用下さい。

応募作品の中から左の写真が「最優秀賞」に選ばれ、記念品を贈りました。

◆タイトル:「旗揚げ」

◆撮影者:

富士宮第22団 院南竜介さん

旗揚げが上手く出来て嬉しそうなスカウトの表情は、見ている者も楽しくしてくれます。「たちばな」の表紙に掲載させて頂きました。

### <応募して頂いた地区>

- 御殿場・小山地区 10作品、 ●富士地区 8作品、 ●富士宮地区 10作品、
- 静岡地区 8作品、 ●島田地区 6作品、 ●浜松地区 10作品

# マスコミコーナー

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された“スカウト活動の記事”を紹介します。

**富士** ボーイスカウトがごみ拾い奉仕  
富士市のボーイスカウト富士9団(竹内金治  
団委員長)は25日、同市内で奉仕活動を行った。



小学生から高校生のメンバーや保護者ら約30人が地域のごみ拾いに取り組んだ。

JR新富士駅からJA富士市田子浦支店まで約1.2kmの区間の道路沿いで実施した。参加者は2グループに分かれ、火ばさみなどを使いながらたばこの吸い殻やペットボトルなどを拾い集めた=写真=。

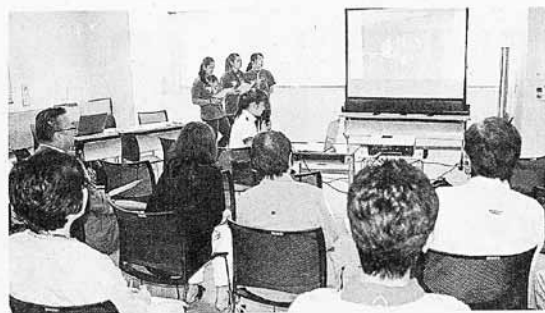
奉仕活動は、同団が発足した1972年から毎年行っている。

## 富士地区

静岡新聞 平成28年9月26日(月) 朝刊に掲載

### 富士 ラトビアでの交流活動報告

日本ボーイスカウト富士地区協議会とガールスカウト富士地区連絡協議会は2日、友情プロジェクトとして今夏にラトビアを訪問した代表



団の報告会を富士市の市民活動センターで開いた=写真=。

両協議会は2007年から、ラトビアのスカウトとの交流を行っていて、ことしは8月16~30日に具志堅唯さん(28)ら4人を派遣した。報告会では首都リガなどでホームステイや交流キャンプに取り組んだことを説明した。

4人からは「現地では子どもも世界情勢のことを考えていて反省させられた」「スカウトの指導者のレベルが高いと感じた」との声も。出席した両協議会の関係者約20人は興味深そうに聞き入った。

静岡新聞 平成28年10月3日(月) 朝刊に掲載

静岡新聞 平成28年10月17日(月) 朝刊に掲載

### BS富士地区10団カブ集会

#### ポイントラリー楽しむ

ボーイスカウト富士地区(杉山満地区委員  
長)は16日、富士市の  
岩本山公園で地区の10  
団の児童と一緒に楽し  
むカブ集会を実施し  
た。小学3~5年の団  
員計約80人が参加し、  
友情の輪を広げた。  
開会セレモニーで

姿のスタッフから地図  
や指令書を受け取り、

チェックポイント5カ  
所と、人気ゲームキャ  
ラクターの絵が木につ  
るされた7カ所の「ポ  
イント」を探して  
ゴールを目指した。



ライオンにふんしたスタッフから指令書を受け取り、ポイントラリーを楽しむ団員たち=富士市の岩本山公園

### 【その他の掲載記事】

- ◆小山町 木製オブジェ制作にボーイスカウト参加
- ◆スカウトの日で奉仕 BS富士9団 ふるさと美化運動
- ◆赤い羽根募金始まる (富士地区のスカウトが募金活動)
- ◆ラトビアで学ぶスカウト4人が報告会
- ◆BSカブ隊員が交流 富士地区集会でゲーム

## 御殿場・小山地区

◎静岡新聞 平成28年9月27日(火)  
朝刊に掲載

### 記念オブジェ 小中学生制作

小山町のボーイスカウト小山1団、同4団の小中学生がこのほど、県と伊タリアのフリウリ・ベネチア・ジュリア州の交流事業として開かれる自転車レース「FUJIZONCOLAN ヒルクライムin小山町」の記念オブジェの制作に参加した。

オブジェは、御殿場市ぐみ沢の木彫作家、横山澄夫さん(73)と同市のNPO法人「土に還る木・森づくりの会」が地元の間伐材を使い、約3週間前から制作してきた。

### 小山で1日、伊との交流自転車レース

町総合文化会館に持ち込まれたオブジェを見た参加者は、大きなイチョウの板に彫られた富士山の迫力にびっくり。横山さんから指導を受けながら、背景の部分を紙やすりで丁寧に削り、富士山の立体感を強調した。

オブジェは10月1日のレース当日、スタート地点のふじあざみライン入り口(同町須走)に展示する予定。横山さんは「静岡県と伊タリアの交流事業に参加したことを誇りに思っている」と呼び掛けた。



オブジェに紙やすりをかける横山さん(右から2人目と参加者)小山町総合文化会館

## 静岡地区

◎静岡新聞 平成28年11月22日(火)  
朝刊に掲載



ロープ結びを体験する来場者＝静岡市葵区

ボーイスカウト  
団員が活動紹介  
葵区でフェア

ボーイスカウト静岡  
人が、活動紹介や災害

地区は20日、「スカウトフェア」を静岡市葵区の青葉緑地公園で開いた。団員約250

時にも役立つ技能の体験コーナーを通してスカウトの魅力をPRした。

ロープ結びの体験コーナーでは、団員が8の字結びやもやい結びを指導し、来場者は真剣な表情で取り組んだ。西川仁彦君(8)は「ロープ結びは難しかったけれど、できた時はうれしかった。もっと勉強してみたいと思った」と話した。

このほか、ペットボトルで作った簡易浄水器での浄水体験や、三角巾の結び方を体験できるコーナーもあり、親子らでにぎわった。

- 《岳南新聞》 9月27日掲載 御殿場・小山地区
- 《富士ニュース》 9月27日掲載 富士地区
- 《富士ニュース》 10月2日掲載 富士地区
- 《富士ニュース》 10月4日掲載 富士地区
- 《富士ニュース》 10月19日掲載 富士地区

# おしらせコーナー

## 平成29年度「たちばな」への原稿依頼計画

自主投稿や新聞への掲載記事など、大歓迎です。どしどしお送りください。

地区名	147号 4月 原稿締切2月21日 対象期間12月以降	148号 7月 原稿締切5月23日 対象期間3月以降	149号 10月 原稿締切8月22日 対象期間6月以降	150号 1月 原稿締切11月21日 対象期間9月以降
伊 東	BVS	CS	BS	隊指導者
三 島	隊指導者	BVS	CS	BS
沼 駿	BS	地区役員/団委員	BVS	CS
御殿場・小山	CS	BS	隊指導者	BVS
富 士	BVS	CS・VS	BS	地区役員/団委員
富 士 宮	隊指導者	BVS	CS	BS
清 水	BS	隊指導者	BVS	CS
静 岡	CS	BS	地区役員/団委員	BVS
志 太	BVS	CS	BS	地区役員/団委員
島 田	地区役員/団委員	BVS	CS	BS
掛川・袋井	BS	地区役員/団委員	BVS	CS
磐 田	CS	BS	隊指導者	BVS
浜 松	BVS	CS	BS	VS・隊指導者
浜 松 東	地区役員/団委員	BVS	CS	BS
浜北・天竜	BS	隊指導者	BVS	CS

※団委員には保護者も含まれます。

## ボーイスカウトへのお問い合わせ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局 (☎ 054-255-6185) まで

ホームページ <http://bs-shizuoka.com>

Facebook <https://www.facebook.com/ShizuokaScoutCouncil/> もご覧ください。

## 編 集 日 記

あけましておめでとうございます。

スカウトたちの元気な活動の様子を今年もたくさんお届けします。

「たちばな」チーム一同

広 報 “たちばな” 2017 年 1 月

発 行 所 一般社団法人日本ボーイスカウト静岡県連盟

編集責任者 広報委員長 松田 茂  
〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町 1-70-1  
静岡県青少年会館内  
TEL054-255-6185 FAX054-255-6186

印 刷 三富印刷株式会社  
静岡県浜松市東区上新屋町 30-1 TEL053-467-4678

発 行 部 数 5,623 部